



隊容検査及び出陣式における北部方面通信群長訓示

本部 方面会計課長（行長）の間で衛生的訓練群の評価を促すを促使する通信行動命令地演習方面隊信網をこの対処や手段を科部隊

北部方面通信群 北部方面会計隊



第720号

陸上自衛隊
北部方面隊広報紙
発行：北部方面總監部広報室

面会計隊 訓練検閲



作戦会議における北部方面会計隊長の指導

矢臼別演習場において、練度向上を図る

第2師団平成27年度第1次夏季訓練検閲



第2.5 普通科連噬口子往行進

1.0式戦車による攻撃前進

日は、早朝からの攻撃準備射撃、突撃支援射撃などにより、師団の攻撃前進に寄与し、師団特科隊として、与えられた任務を完遂した。

第2後方支援連隊は13日から15日までの間、師団の陣地攻撃における兵站・衛生部隊としての行動を検閲課目とし、戦闘間、自らが敵の攻撃等に耐えつつ健在し、故障装備品の整備・回収、入浴支援、第一線部隊に対する補給品等の輸送、車両輸送、糧食・燃料の交付、大量の緊急患者の輸送等の任務を完遂し、師団の作戦戦闘に大きく寄与した。

第2飛行隊は、13日から15日までの間、師団の陣地攻撃における航空

科部隊としての行動を検閲課目とし、車両行進の後、矢臼別演习場に展開し、航空偵察、射撃の観測、地雷散布や航空機回収の任務を完遂し、師団の作戦戦闘に大きく寄与した。

第2対舟艇対戦車中隊は、19日から24日までの間、師団の陣地攻撃における専任部隊として、戦闘を検閲課目両行進に引き続

主力の攻撃の間、対機甲部隊として繰り広げた。

師団第一線普通

A photograph showing a military operation. In the center, a UH-1J helicopter is suspended by a crane from a truck. A group of soldiers in camouflage uniforms are gathered around the helicopter and the truck. To the left, a military vehicle is parked on a grassy field. The background shows a hilly landscape under a clear sky.

第2師団は、7月11日から24日までの間、矢臼別演習場において第2師団長を統裁官として平成27年度第1次夏季訓練を行つた。

本訓練検閲は、隸下部隊の第25普通科連隊（遠軽）、第2戦車連隊（上富良野）、第2特科連隊（旭川）、第2後方支援連隊（旭川）、第2飛行隊（旭川）、第2対舟艇

第一線主攻撃連隊の行動を検閲課目とし、徒步行進により作戦行動を開始し、偵察活動により、敵の状況を逐次解明、21日早朝先遣中隊をもつて敵の警戒部隊を駆逐するとともに、当初の目標であつた敵の主戦闘地域の前線を解明し、翌22日連隊主力をもつて敵主陣地に攻撃を開始、縦深目標を奪取し、師団から連隊に与えられた任務を完遂した。

第2戦車連隊は、13日から15日までの間、師団の陣地攻撃における掩護部隊としての行動を検閲課目とし、車両行進のための陸上輸送を行った。翌21日は、早朝から第一線普通科連隊の攻撃のための火力戦闘を行ふとともに、敵の逆襲対処を行ふ。翌22日は、対砲迫戦射撃を行い、22

対戦車中隊（上富良野）の教育訓練の成果を評価するとともに、その進歩向上を促すことを目的に行つたものである。

第25普通科連隊は、19日から22日までの間、師団の車両攻撃による行進の先遣部隊同士の戦いが開始され、敵の先遣部隊を駆逐、当面の目標地帯を奪取して同地域を保持し、翌日の攻撃に備えた。翌15日早朝からさらに総目標に対する攻撃を実行する。

総監部着任将官紹介

總監部幕僚長



陸將補 正木 幸夫
昭和34年12月5日生
東京大学出身
埼玉県出身
平成19年3月 第14普通科連隊長
平成21年7月 陸上幕僚監部運用支援情報部
情報課長
平成23年8月 小平学校 副校長
平成24年7月 北部方面総監部 幕僚副長
平成25年8月 情報本部 情報官

總監部幕僚副長



和41年11月25日生
衛大学出身
岡県出身
成23年12月 第6後方支援連隊長
成24年12月 陸上幕僚監部教育訓練部
教育訓練計画課長
成26年8月 防衛監察本部監察官

千歳基地航空祭研修

航空自衛隊
千歳基地

平成27年度 オピニオンリーダー活動



方面隊は、7月19日、方面隊オピニオンリーダー活動として、航空自衛隊千歳基地において航空祭の研修を行いました。

本研修は、オピニオンリーダーの方々に航空自衛隊の概要を理解

して頂くため、千歳基地航空祭の場を活用し、戦闘機等の飛行展示訓練や地上展示機材を研修して頂きました。

当日は、あいにくの天候で、参加者が楽しみにされていました。ブルーインパルスの飛行展示を含み予定されていた飛行展示のほとんどは、中止となりました。

参加されたオピニオンリーダーは、説明担当の航空自衛官に、積極的に航空機の性能などを質問し、それぞれの航空機の任務の相違などを理解して頂きました。

リーダーは、説明担当の航空自衛官に、積極的に飛行展示が中止になったことは残念でしたが、航空機を間近で研修できる

方面隊は、7月31日、方面隊オピニオンリーダー活動として、苫小牧港において護衛艦「ちくま」の研修を行いました。

本研修は、オピニオンリーダーの方々に海上自衛隊の概要を理解して頂いた。ノーザンスピリット2015の場を活用し、護衛艦「ちくま」による航海を体験して頂きました。

その中で、担当する海上自衛官から説明を受け、護衛艦の装備品の紹介なども質問して頂きました。

貴重な体験をさせて頂いた。機会を通じて得たものを普及させたいなどの意見を頂きました。

方面隊は、7月31日、方面隊オピニオンリーダー活動として、苫小牧港において護衛艦「ちくま」の研修を行いました。

千歳基地での研修

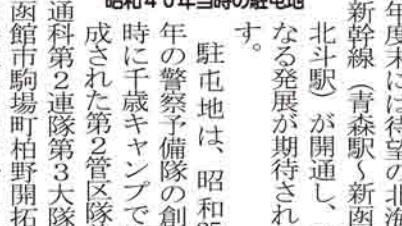
海上自衛隊 護衛艦研修

護衛艦「ちくま」の研修

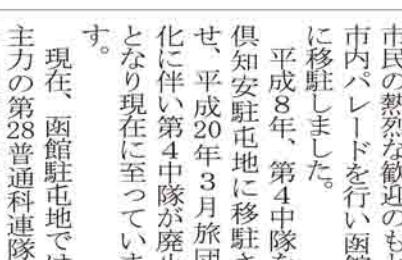
北の駐屯地 その歩み 函館駐屯地



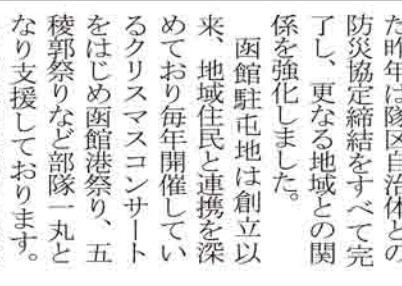
昭和40年当時の駐屯地



昭和40年当時の駐屯地



昭和40年当時の駐屯地



現在の函館駐屯地

陸上自衛隊函館駐屯地は、地理的にも要衝である津軽海峡に面する駐屯地であり、渡島・檜山後志西部の2市16町の防衛警備、災害対処などを担任する第28普通科連隊を基幹に7個部隊からなります。

函館駐屯地は東日本大震災、南海地震などの災害派遣に延べ89回出動しており、即応態勢を維持・整備しています。また昨年は隊区自治体との連携協定締結をすべて完了し、更なる地域との関係を強化しました。

函館駐屯地は創立以来、地域住民と連携を深めており毎年開催しているクリスマスコンサートをはじめ函館港祭り、五稜郭祭りなど部隊一丸となり支援しております。

函館駐屯地は創立以来、地域住民と連携を深めており毎年開催しているクリスマスコンサートをはじめ函館港祭り、五

稜郭祭りなど部隊一丸となり支援しております。

函館駐屯地は創

